



令和元年十二月十六日に南風原町社会福祉協議会主催の地域福祉懇談会が兼城区で開催され同区の審議委員や評議委員をはじめ民生委員、福祉協力員など約30名が集まりました。

令和最初の地域福祉懇談会となった今回はまずはじめに嘉手苅区長の挨拶が行われ、続いて顔の見える関係づくりを目的に参加者と社会福祉協議会職員の自己紹介が行われました。

そしてPTA会長大城直也氏と民生委員大城正治氏による活動報告が行われました。



兼城PTA会長大城直也氏

続いて行われた懇談会では「兼城はどんな地域か」、「兼城をどんな地域にしていきたいか?」をテーマに活発な懇談が交わされ、多くの意見や質問が寄せられました。



意見交換会の様子

懇談会で出た意見（抜粋）

◇日頃感じていること◇

生活環境について

- 立地がよく住みやすい
- 車通りが多くこども達の事故が怖い
- 人口が増えている（町外からの転入者が多い）

行事・活動について

- スポーツが盛ん!
- 行事が多いけど人が集まらない（決まった人しか来ない）
- 伝統の綱引きや祭りがあり、近年は中学校で綱うちを教えている
- つながらり・交流について
- 住民の交流が少なくなり、地域のコミュニケーションが足りない
- アパート世帯が増え、近所で挨拶する人が減っている
- 若い世代が集まらず、活気が無くなった
- 行事の案内の放送をしてもうるさいとの苦情が来るので残念

◇兼城をどんな地域にしたいか◇

- 地域に住んでいる方と少しずつ触れ合って、顔の見える関係がつけられたい
- 自治会員でも行事になかなか参加しない人もいるので参加しやすい雰囲気を作りたい
- 学校と地域でうまく連携していきたい
- 棒術などの伝統芸能をこどもたちにも継承していきたい
- 兼城から大人になって出た後でもいい環境を作りたい